

Environmental Communication

環境コミュニケーション

事業者



住民



行政



令和4(2022)年1月

岡山県 環境文化部 環境管理課

今こそ環境コミュニケーション

環境コミュニケーションとは、一般的には、事業者、住民、行政等の関係者の間で、環境に関する情報について共有や対話を行うこととされています。

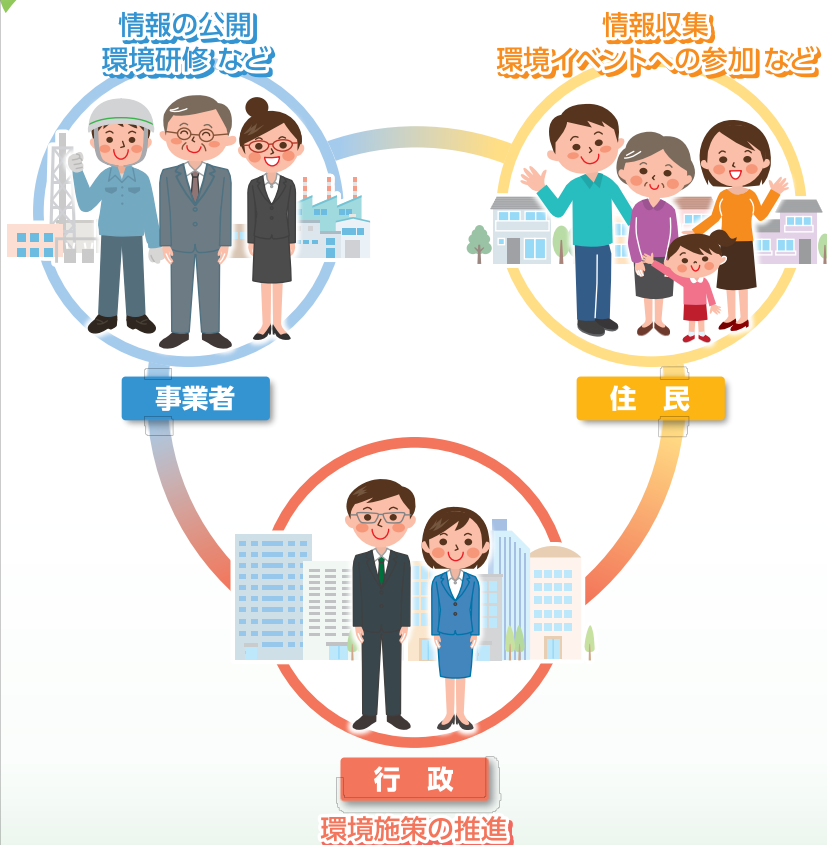
近年では、気候変動対策やSDGsの実現に向け、環境問題に対する事業者の取組への期待が益々高まっており、また、ESG投資の拡大に伴い、環境情報の開示内容や地域住民との良好な関係の構築は、持続可能な事業者として評価される上で、必要不可欠な要素となっています。

このような中、各事業者においては、環境問題について、将来のリスクを適切に評価し、事業活動の中でどのように取り組むのかを自らの言葉で語り、関係者と良好なパートナーシップを確立していくことが重要であり、環境保全活動の活性化と環境コミュニケーションのさらなる促進が求められています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



環境コミュニケーション



事業者

- 環境報告書の作成・ホームページへの掲載
- 日常的なコミュニケーション
- 地域住民との対話
- 従業員への環境研修

住民

- 地域の環境情報の収集
- 環境イベントなどへの積極的な参加
- 環境リスクの学習

行政

- 環境情報の提供
- 環境施策の推進
- コミュニケーションの円滑化

4つのメリット

1 企業イメージの向上

事業所や工場の周辺に住んでいる地域の方々は、そこで何が
行われているのか、どのような化学物質がどのくらい使われて
いるのか、防災体制はどうなっているのかなどを知らない場
合、漠然とした不安や不信感を抱え、事業所や工場に悪い印象
を持ってしまふことがあります。

環境に配慮した事業活動の内容を地域住民にお知らせするこ
とは、持続可能な事業活動を行っている会社であることをPR
するチャンスになります。



2 経費やCO₂の削減

事業活動によって生じる環境負荷を確認し、作業工程などを見直すことで、生産性の向上や経費削減
に繋がり、温室効果ガスの削減も期待できます。

3 地域とのトラブルの未然防止

日常的に地域とのコミュニケーションを行うことで、
トラブルを未然に防いだり、事態が悪化する前に解決し
たりすることができます。



4 従業員の環境意識の向上

環境関係法令の遵守状況や法改正の有無をチェックするなど、環境対策の取組状況等を見直す良い機
会になるとともに、従業員の環境意識が向上し、地域の一員として、より良い環境を整えようという思
いを地域住民に伝えることができます。

環境コミュニケーションの取組方法

1

環境報告書の作成・ホームページへの掲載

事業所や工場が取り組んでいる環境活動の内容を環境報告書にまとめて、地域住民の方に配布したり、ホームページに掲載しましょう。

環境報告書という形でなくとも、ホームページに環境活動や環境配慮型製品の紹介を掲載する方法もあります。

環境報告書とは

事業者が、自らの事業活動によって生じる環境負荷や、環境に対する考え方、取組等をステークホルダー（利害関係者）などに対して定期的に公表するもの。CSR報告書、環境経営レポートなど様々な呼び方があります。

エコアクション21

環境省が策定した国内認証の環境マネジメントシステムで、1年間の環境への取組結果を環境報告書（環境経営レポート）としてまとめます。

エコアクション21に取り組む全国約7,500社の環境報告書（環境経営レポート）はHPで公開されており、取組を参考にすることが可能です。

また、環境負荷の集計シートや取組のヒント集などが提供されており、初めての事業者でも効果的・継続的に取り組める制度です。

2

日常的なコミュニケーション

地域の方と日常的なコミュニケーションを図り、地域の方の声が聞ける機会をつくるのが大切です。

まずは顔見知りになることから始め、日常的に地域住民との間で良好な関係を構築し、信頼関係を築いていきましょう。

実践例

- 地域の清掃活動への協力
- お祭りなどのイベントへの協賛
- 工場見学会や環境学習の開催



3

地域住民との対話

事業の内容や環境情報などを地域住民と共有し、お互いが対話する場を設けるのが大切です。一方的に事業者が話をするのではなく、住民の不安や要望にも耳を傾け相互の理解を深める場にしましょう。円滑な話し合いを進めるためには、日常的なコミュニケーション、信頼関係の構築が大前提となります。

4

従業員への環境研修

社内全体として環境意識が高まることで、地域の一員として、より良い環境を整えようという思いを地域住民に伝えることができます。

また、地域の方が従業員として働いている場合には、従業員への環境研修は地域の方とのコミュニケーションにもなります。

取組事例紹介①

株式会社北陽商会

会社概要

所在地：新見市新見327-1
 設立：1952年（昭和27年）
 従業員数：10名（令和2年度末時点）
 業務内容：自動車販売・整備
 その他：エコアクション21認証取得
 岡山県エコ事業所認定

行政が環境問題に取り組み、大手企業が環境経営に力を入れている中で、中小企業も、環境問題を避けては、経営が成り立たなくなるとの思いで「環境」をキーワードに「エコ整備」を導入し、エコアクション21の登録・認証を受けるなど、環境経営に取り組んでいます。

環境経営という、新たな設備投資や人材確保が必要で儲けにならないというイメージがありますが、「社員主導+地域密着」をモットーに、自社の事業に見合った規模で、環境と経営を両立できるよう活動を実施しています。



主な取組内容

- ・環境報告書の作成、配布
- ・環境経営の実践、SDGsへの取組
- ・市街地清掃活動、ラジオ体操講習会の開催、交通安全テント村への参加など地域社会とコミュニケーション

環境報告書をコミュニケーションツールとして活用!

取組内容をステークホルダーに伝えるため、「環境報告書」を作成・配布し、コミュニケーションを図るためのツールとして活用しています。

環境関連の表彰を受けることで宣伝効果も社員のモチベーションもアップ!

環境コミュニケーション大賞※1 受賞歴

環境活動レポート部門

【大賞】平成26年

【優秀賞】平成22年

【優良賞】平成27～29年

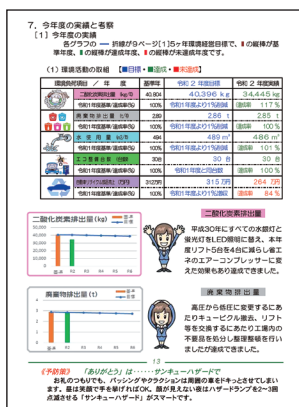
環境経営レポート部門

【優良賞】平成31年、令和2～3年

エコアクション21 オブサイヤー2021※2

環境経営レポート部門

【銅賞】令和4年



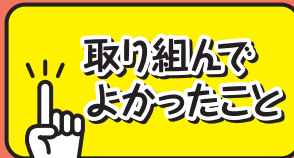
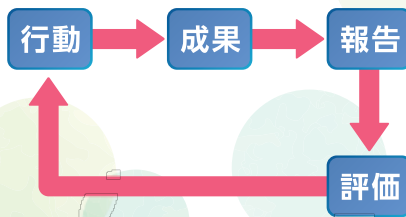
↑「イラスト」や「グラフ」で分かりやすく配布は手に取りやすいA5版で作成

- ※1 環境省と地球・人間環境フォーラムが主催し、あらゆる媒体でのマルチステークホルダー向けの優れた環境報告を表彰することにより、事業者の環境コミュニケーションへの取組を促進するとともに、その質の向上を図ることを目的とした表彰制度
- ※2 環境経営レポート及び社会課題解決につながる取組（地域への積極参加、働き方など）を顕彰することで、脱炭素社会の実現、SDGsの達成に向けた中小企業における多様な取組を国内に広く発信するとともに、こうした動きを加速化させることを目的とした表彰制度

主役を社員とすることで好循環が生まれます!

トップダウンではなく、社員を主役にしたボトムアップ方式で実施することが継続の秘訣です。

行動することで初めて成果が生まれ、その成果を環境報告書としてステークホルダーに伝えることで評価を受けます。その評価が行動のモチベーションとなり、更に上を目指していくといういい流れが生まれます。



- ・活動内容が評価されることで、社員が、仕事に対する誇りや、やりがいをこれまで以上に感じ、自発的に環境活動に取り組むようになってきたと実感しています。
- ・エコアクション21を取得することで、宣伝効果もあがり、経費も大幅に削減でき、環境経営のサイクルも上手く回り始めました。

取組事例紹介②

東芝キャリア株式会社 津山事業所

会社概要

所在地：津山市国分寺555
設立：1974年（昭和49年）
従業員数：220名（令和2年度末時点）
業務内容：業務用空調機器製造
その他：ISO14001認証取得
岡山県エコ事業所認定

地域住民の方々との相互理解の促進のために、積極的な情報開示と環境コミュニケーション活動に取り組んでいます。

地域住民の方々から見て安心な工場にしたいとの思いで、事業場の創業当初から近隣町内の方々との対話会を始めました。まずはお互い顔を合わせて話をするところから始め、その後、取り巻く環境の変化もあり、徐々に環境に関する活動内容も話すようになり、工場の見学会などを通じて事業活動への理解を深めていただくとともに、貴重なご意見を事業活動に役立てています。

主な取組内容

- ・地域住民との意見交換会、環境対話会、工場見学会の実施
- ・環境報告書の作成、配布、SDGsへの取組
- ・市街地清掃活動への参加など地域社会とコミュニケーション



企業は地域の一員であると心掛け、環境コミュニケーション活動に取り組んでいます

近隣町内会役員の方との対話会では、工場の近況報告や環境活動の実施状況報告などを中心に対話し、いただいたご意見やご要望を事業活動に反映させています。



これまでにいただいたご意見等の一部

薬品管理方法は大丈夫か

⇒管理方法やリスクを丁寧に説明することで、地域の方の不安が解消できました。

運動会のときに駐車場を使用させてほしい

⇒運動会や町内会イベントの際に駐車場を提供したところ、喜んでもらえました。

工場周辺の草刈や水路清掃ありがとうございます

地域住民の方から、「地域によく協力していただきありがとうございます」、「いい活動をしていて安心感が持てる」とのお声をいただけるようになりました。

環境リスク管理の強化

水質測定のための採水を行政と町内会役員の方の立ち合いのもと実施し、その測定結果を報告しています。

外部からの監視の目を入れることで、環境リスク管理の強化につながり、地域の方々にも安心していただけます。



- ・事業内容や活動内容を対話を通じ直接知ってもらうことで、地域の方に安心していただくことができました。
- ・地域の方から苦情が出たとしても、それは改善点であり、今後の事業活動を見直すチャンスです。いただいたご意見やご要望を次の活動にフィードバックしていくことで、より良い活動とすることができ、地域の方との信頼関係を深めることができました。

県民の皆様へ

安全・安心な生活を送るために、自分たちの住む地域の環境について、「知る・学ぶ」ということはとても大切なことです。

お住いの地域の環境のことや、近隣にある工場がどんな製品をつくっているか、わたしたちの環境にどのくらい関わっているか考えたことがあるでしょうか。

日頃から環境について関心を持ち、地域の事業者との信頼関係を築くことで、自分たちの住む環境に対する不安の解消や事業者の方々とのトラブルの未然防止に繋がります。

1 調べてみましょう

自分たちの住む地域の環境について調べてみましょう。

大気環境や水質環境の測定結果はどのくらいか、あの工場は何を造っているのか、草むらや川にはどんな生き物が棲んでいるのかなど、地域の環境に関心を持つことは、より良い環境を目指した地域づくりに繋がります。



2 参加しましょう

地域の事業場や自治体、環境団体などが実施する環境イベントなどに積極的に参加しましょう。環境について知るだけではなく、普段あまり接する機会のない方々とコミュニケーションを図る絶好の機会です。



3 環境リスクについて学びましょう

人の健康や生態系に悪い影響を及ぼす可能性（環境リスク）の把握には、正しい知識が必要です。

例えば、使用されている化学物質にどのような有害性があり、どれくらいの量が体に入った場合に影響があるのかを正しく理解することが重要です。

環境に関する情報はこちら

県や環境省など、さまざまな機関が環境に関する情報を公開しています。
下記に環境情報に関するホームページをいくつか掲載していますので、ぜひご覧ください。
このほかにも環境に関して気になるものがあれば、探してみてください。



地域の環境に関する情報

県内の大気・水質・騒音・廃棄物・自然などの環境の現状に関するデータや県が進めている環境施策の目標・動向等を掲載しています。

岡山県環境白書(岡山県HP)

URL:<https://www.pref.okayama.jp/page/541869.html>

岡山県環境基本計画(岡山県HP)

URL:<https://www.pref.okayama.jp/page/702875.html>

岡山県の大気環境、水質環境、化学物質の状況(岡山県HP)

URL:<https://www.pref.okayama.jp/soshiki/29/>

化学物質に関する情報

化学物質についての正しい知識と理解を深めていただくための参考情報が掲載されています。

PRTRインフォメーション広場(環境省HP)

URL:<http://www.env.go.jp/chemi/prtr/risk0.html>

化学物質ファクトシート(環境省HP)

URL:<http://www.env.go.jp/chemi/communication/factsheet.html>

県民向けガイドブック「化学物質ってなんだろう?」(岡山県HP)

URL:<https://www.pref.okayama.jp/page/detail-33724.html>

身の回りの製品に含まれる化学物質(独立行政法人製品評価技術基盤機構(NITE)HP)

URL:<https://www.nite.go.jp/chem/shiryo/product/productinfo.html>

化学物質のリスク評価・リスクコミュニケーションに関する情報

化学物質管理のリスクコミュニケーションの事例集や、リスクコミュニケーションのための解説及びツール等が掲載されています。

化学物質のリスクコミュニケーション(独立行政法人製品評価技術基盤機構(NITE)HP)

URL:https://www.nite.go.jp/chem/management/rc_index.html

環境報告書作成に関する情報

環境報告書の作成・活用に役立つ情報が掲載されています。環境報告書作成の手引きや事業者の方が作成した環境報告書も閲覧できます。

もっと知りたい!環境報告書(環境省HP)

URL:https://www.env.go.jp/policy/hairyo_law/post_160.html

エコアクション21中央事務局(一般財団法人持続性推進機構HP)

URL:<https://www.ea21.jp/>



古紙パルプ配合率70%再生紙を使用